

5年間の英国留学出発にあたって

この度 Tazaki 財団 第三期生として英国留学をさせていただけることとなり、出発を目前に、多くの不安と期待が入り混じった複雑な心境の中にいます。

生まれてから今までずっと同じような文化的背景、価値観を持った人たちに囲まれて生きてきて、突然、全く異なるバックグラウンドを抱えた人たちの中に入っていかなくてはならず、その中で自分がうまくやっていけるのか、英語で現地の生徒と渡り合っていけるのか、不安の種は枚挙に暇がありません。

その一方で、これから始まる新しい学校生活は楽しみでなりません。

少人数で行われるレベルの高い授業やその他のスポーツ、芸術活動、課外活動はどれも魅力的で、積極的に参加してみたいと思います。

この英国留学を通して、国際的な視野を身につけ、世界で活躍できる人になりたいと思っていますが、それを実現するためには日本にいた時より、アクティブに、貪欲に、チャンスを自分のものにしないといけないと考えています。

自分はあまり自己主張が強い方ではないので、意識してとりくまないと自分の意見を伝えられないので頑張りたいです。もちろん自分の意見を一方的に主張するだけでなく、多様な主義・主張を受け止め、多角的に比較して判断できる能力も身につけたいです。

先日、ガーディアンの方とのオンラインでの面接がありました。

その時に言われて、強く印象に残っている言葉があります。

“Be yourself, don't try to be someone else.”

日本人である自分を失わないように、この言葉を忘れず、英国で生活して行きたいと思います。

今まで応援してくれた家族、知人の皆様、温かく送り出してくれた学校の先生や友達、また支援して下さる Tazaki 財団の皆様にご心から感謝します。

今まで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

宮下



写真: 英国到着後、初めての朝の風景(サマースクールに向かう前に滞在させていただいたホームステイ先の牧場にて)